

資料館だより

2020年 春号

contents

館長あいさつ……………	1
イタイイタイ病の教訓を次世代へ……	2
資料館の語り部さんです ……………	2
四大公害病を語り継いでいくために	3
トピックス ……………	3
ニュース……………	4
資料館インフォメーション ……………	4



令和2年
2月15日

「イタイイタイ病を考える県民フォーラム」開催!



石井隆一 富山県知事 挨拶



特別講演 萩尾みどり氏(女優)



学習発表
富山市立宮野小学校 6年生の皆さん



「山は青きふるさと、水は清きふるさと」に想う



富山県立イタイイタイ病資料館 館長 飯田博行

イタイイタイ病資料館が開館して8年になりますが、毎年多くの小学生が課外授業で来館されます。神通川流域カドミウム被害団体連絡協議会主催、「神通川清流環境賞」の第2回作文コンクールに、県内61の小学校から2,734点もの作文が応募されました。素晴らしい内容の作文で、清流をはじめ環境を守る気持ちが込められ、将来に期待を抱かせてくれました。

質ゼロにする「とやまゼロカーボン推進宣言」の準備を進めます。

2月に「イタイイタイ病を考える県民フォーラム」を開催しました。次代を担う若者たちによるイタイイタイ病に関する学習発表会では、富山市立宮野小学校6年生がイタイイタイ病の被害と克服の歴史を劇にして発表し、多くの参加者に感動を与えました。女優 萩尾みどりさんの「今、私達にできること」と題した特別講演では、地球温暖化など環境問題に危機感を持ち、身近な電気や水の節約を勧めるなど示唆に富むお話でした。

昨年12月スペインのマドリッドで気候変動枠組み条約第25回締結国会議(COP25)が開かれ、スウェーデンの環境活動家グレタ・トゥンベリさんら若者の活動が目されました。産業革命前からの気温上昇を2℃未満、できれば1.5℃に抑えることを目標にしているパリ協定が今年から実施されます。日本をはじめ世界各国の脱炭素社会への対策が課題であり、富山県は、2050年までに二酸化炭素の排出を実

宮野小学校の発表の最後に、全員で童謡唱歌「ふるさと」を合唱しましたが、おわりの歌詞「山は青きふるさと、水は清きふるさと」が心に残りました。緑豊かな美しい山々があり、清らかな水の流れる故郷の原風景を想う歌詞ですが、自然環境を守ることの大切さを改めて感じました。

2月15日（土）に富山県国際健康プラザで開催した「イタイイタイ病を考える県民フォーラム」には約150名が来場しました。まず、石井隆一県知事が「二度と公害が起きないように、先進的に取り組んでいきたい」と挨拶しました。

続いての「次代を担う若者たちによるイタイイタイ病に関する学習発表」では、かつてカドミウム汚染の被害を受けた富山市婦中町にある、富山市立宮野小学校の6年生44名がイタイイタイ病の被害と克服の歴史を劇にして発表しました。児童たちの熱演に会場内の参加者からは多くの感動の声が寄せられました。

その後、イタイイタイ病資料館の飯田博行館長が令和元年度の事業報告を行いました。

休憩後、女優の萩尾みどりさんを講師に招き「今、私達にできること」の演題で、特別講演をしていただきました。懸念される地球環境の危機について、ご自身の活動や経験に触れながらデータに基づいた解説をされ、環境保全のために一人ひとりが認識を深め、それぞれの生活の中でできる具体的な対策を訴えました。



発表劇を熱演する宮野小学校6年生

参加者の声

宮野小学校6年生の学習発表は、本気で伝えるその思いと情熱に涙しました。（女性・60歳代）

今日の半日は1週間分位の値がありました。（女性・70歳以上）

萩尾みどりさんの講演を聞いて、水やエネルギーを大切にすることを実践したいと思いました。（女性・60歳代）

「宮野地区を僕たちが守る」という宮野小学校6年生の発表を心強く思いました。（男性・70歳以上）

【宮野小学校6年生の発表内容】

イタイイタイ病資料館の見学や語り部さんとの対話などイタイイタイ病の学習を通して学んだ、患者や家族の思い、先人の想い、私たちの使命等について、考えてきた思いを伝える発表劇でした。

イタイイタイ病を語り継ぐ 資料館の 語り部さんです

資料館の語り部の方をシリーズで紹介します。

今回は、江添良作さんに、これまで活動されてきて、うれしかったことや今後伝えていきたいことについて聞いてみました。

江添さんのプロフィール

江添さんのおばあ様がイタイイタイ病の患者さんでした。また、江添さんのお父様はイタイイタイ病対策協議会の副会長として患者救済や裁判勝訴に尽力されました。

講話の中で父の生涯を辿りながら、公害病の悲惨さとその教訓を語り継ぐことの必要性をお話されています。

Q1 これまで活動されてきて、うれしかったことは？

小学生から大学生、社会人、高齢者まで幅広く毎回、異なる聴き手^{ひととき}に対し、一期一会の今を大切に語っている中で、心が通じ合い思いを共有する一時。

その中で特に印象深いのは、三井金属鉱業の新入社員の方から「緊張関係のある信頼関係とは」と質問があり、お互いの思いを語り合えた。

Q2 語り部として今後伝えていきたいことは？

過去に起きた出来事を少しでも多くの人に、関心を持ってもらえるよう語り伝えるとともに、いま現在に生きる者は公害や環境問題に対して、「何をしなければならぬか？」を考える一助となれば幸いです。



えぞえりょうさく
江添良作さん（70歳）

四大公害病を語り継いでいくために

●「四大公害病の語り部講話を聴く集い～語り部による伝承会～」を開催しました。

令和元年10月5日（土）、四大公害病の各資料館から語り部や解説員が富山県に参集し、公害被害と教訓を後世に語り継ぐ『四大公害病の語り部講話を聴く集い～語り部による伝承会～』を開催しました。

「水俣市立水俣病資料館」の川本愛一郎さん、「新潟県立環境と人間のふれあい館」の曾我浩さん、「富山県立イタイイタイ病資料館」の若林カズ子さんが、それぞれの体験をもとに講話されました。

「四日市公害と環境未来館」からは谷田輝子さんが講話映像で参加され、解説員の斉藤正英さんに説明いただきました。

語り部の皆さんは講話後、会場からの積極的な質問にも答えておられました。



四大公害病 各資料館の語り部さん



集いの後半は、4人の語り部・解説員にイタイイタイ病対策協議会副会長の小松雅子さんと当資料館の飯田館長が加わり、「公害病を令和の時代に語り継いでいくために」と題して意見交換を行いました。

まず、各語り部・解説員から、公害の事実を風化することなく若い人たちに伝えていくための、日ごろからの取り組みについてお話をいただきました。

地域の事情に応じてさまざまな工夫をされており、講話や解説を聞いた小・中学生から寄せられる感想文や手紙などに大きな感動を受け、伝えたかったことが若い世代にも確実に伝わっているという手ごたえを感じておられました。

生の声や顔が見える伝え方の重要性、高齢化した語り部を引継ぐ「伝え手」の育成や解説員の活用、講話映像や証言ディスプレイ等の活用など、会場の参加者も交えて活発な話し合いが続き、最後に小松さんの総評で集いを閉会しました。



意見交換

トピックス

海外から 見学に

海外からも多くの見学者が訪れています。

11月にシンガポールから中学生の皆さんが来館されました。

インドネシアからは、12月に小学生訪問団、1月に教育関係者が来館され、イタイイタイ病の恐ろしさや克服の歴史について学ばれました。



シンガポールの中学生の皆さん



インドネシアの小学生の皆さん



インドネシアの教育関係者

また、2月8日にはメコン川流域4カ国（タイ、ラオス、カンボジア、ベトナム）の環境技術交流団20名が来館され、ガイダンス映像を視聴した後の語り部講話では通訳を介して熱心な質疑応答がありました。

東南アジア諸国の環境に対する姿勢が窺われます。



メコン4カ国の視察団

新年初の来館者

令和2年1月2日の年初め開館日、本年最初に来館されたのは、お祖父さんとお孫さん3人（小5・小5・中1）の仲良し、富山市の畑田さんご家族でした。

またの来館をお待ちしております。



ニュース

○参議院環境委員会の視察

2月20日(土)、参議院環境委員会が、環境問題に関する視察でイタイタイ病資料館を訪れました。

牧山ひろえ委員長はじめ理事・委員の7氏は、ガイダンス映像を視聴し、飯田館長の案内で展示室を見学され、イタイタイ病の実態と克服の歴史について理解を深められました。



資料館インフォメーション

令和元年度下半期の行事経過

令和元年

10月5日(土) 四大公害病の語り部講話を聴く集い
～語り部による伝承会～

令和2年

2月15日(土) イタイタイ病を考える
県民フォーラム

令和2年度上半期の行事予定

4月25日(土)～5月6日(水・振替休日)

「公害資料館ネットワーク共通パネル展示」
(4/25～5/6)

「イタイタイ病資料館見学ツアー」
(5/3～5/5)

6月下旬 語り部・解説ボランティア研修会

7月下旬 夏休み自由研究講座
～イタイタイ病の学習と川の水質調査～

8月上旬 イタイタイ病を学ぶ日帰りバスツアー

8月下旬 イタイタイ病資料館活用研修会
※詳細については、ホームページ等でお知らせいたします。

○語り部講話の聴講者を募集しています

資料館を団体(原則10名以上)で見学される場合には、事前に申込みいただくと、イタイタイ病に関して貴重な体験をされた語り部さんの講話を聴くことができます。(来館される3週間前までにお申し込みください。)

詳細については、資料館ホームページをご覧ください。

○メールマガジン登録者募集中

資料館の最新情報などをお伝えするメールマガジンを配信しています。配信を希望される方は次のメールアドレスあてにメールを送信してください。【mlhope@itaitai-dis.jp】

春の特別企画展

『イタイタイ病資料館 見学ツアー』を開催します！

(参加無料)

イタイタイ病の発生や被害の状況、克服の歴史について紹介した「ガイダンス映像の視聴」や資料館スタッフによる「展示室の解説案内」、「語り部講話映像の上映」の見学ツアーを開催します。

日時：5月3日(日)～5月5日(火・祝)

場所：イタイタイ病資料館

※詳細については、資料館ホームページ等でお知らせします。

課外学習サポート事業の 利用校募集のお知らせ

令和2年3月25日(水)より 募集を開始します!!

新年度も多くの子どもたちにイタイタイ病について学んでいただくため、学校等に「無料送迎バス」を提供する「課外学習サポート事業(環境省委託)」を実施します。

資料館への送迎は、これまでと同様に、学校や県内施設を起点・終点として実施します。また、近接する「四季防災館」の見学の場合は無料区間が延長され、より利用しやすい内容となっています。

利用条件など詳細については、資料館までお尋ねください。



発行/富山県立イタイタイ病資料館

〒939-8224 富山県富山市友杉151番地(とやま健康パーク内)

電話▶076-428-0830 FAX▶076-428-0833

(令和2年3月発行)

URL▶<http://www.pref.toyama.jp/branches/1291/>

 富山県